

千葉県の哺乳類を見てみたい！

という方は多いと思いますが、夜行性だったり警戒心が強かったり、なかなか簡単ではありません。団員の皆さんからお送りいただいた報告写真から 9 種を選びました。他にもニホンジカ、ニホンイノシシ、ホンドギツネ等が千葉県には生息しています。※夜間の観察は必ず大人と行きましょう。（a0000 は撮影者の団員番号です）



キクガシラコウモリ a1015

日本列島と朝鮮半島に生息。県内では市原市以南に生息する。北部での確認例は少ない。



ニホンアナグマ a0791

県内で唯一、冬ごもりする中型哺乳類。県南部に多いが、北部での分布の詳細は不明。



ニホンイタチ a0065

水田や湿地に生息する。ネズミや鳥類など小型動物を広く捕食する肉食性。日本固有種。



ニホンザル a0724

日本唯一の霊長類。県南部では特定外来生物のアカゲザルとの交雑が生じている。



タヌキ（ホンドタヌキ）a0963

県内に広く生息する。稀にヒゼンダニによる疥癬（かいせん）症の感染個体が見られる。



ニホンノウサギ a0389

草原から森林に広く生息する。千葉県の個体群は冬期も毛色が変色しない。日本固有種。



アライグマ a0624 特定外来生物

北米原産の外来種。肉食性の強い雑食性。家屋の屋根裏や軒下に棲みつことがあふ。



ハクビシン a0034 外来種

東南アジア原産の外来種。雑食性で多様な農作物に被害を及ぼす。屋根裏に棲みつ。



キョン a0913 特定外来生物

台湾や中国南部原産の外来種。県南部と伊豆大島で飼育個体が逃げ出し野生化している。

平成 27 年度 生命のにぎわい調査フォーラムを開催しました

平成 28 年 3 月 12 日 (土)

生命のにぎわい調査団は、この 3 月で設立から 7 年 8 か月が経過し、団員数は 1,115 名、報告件数は延べ約 66,000 件 (1 年間で約 17,000 件) となりました。今年の調査フォーラムは発表数が多く、しかも内容がたいへん充実していて団員の底力を感じました。参加者数は 72 名 (団員 43 名、団員以外 20 名、職員 9 名)。

- 1 講演「両生爬虫類の話」 生物多様性センター 主事 栗田 隆気
- 2 講演「野外の危険な生物マダニとツツガムシ」 衛生研究所 主任上席研究員 竹村 明浩
- 3 報告「調査団の生き物調査報告のデータ解析」 生物多様性センター 副主幹 御巫 由紀
- 4 調査団員からの情報提供・観察事例紹介

①「庭のキョン」 村田 明久 (a0913) ②「キョンの食性観察」 笠井 賢治 (a0620) ③「ドライブレコーダーを利用した観察報告」 望月 政樹 (a0034) ④「鋸山の植生の特徴と希少種について」 濱田 伸 (a0843) ⑤「大やぶ池の四季」 柴田 清治 (a0077) ⑥「遊び文化の伝承と子ども達の楽しめる自然観察会」 高見 等 (a0195) ⑦「千葉市で見つけたクモの話」 泉 宏子 (a0550) ⑧「生命のにぎわいウォーキングのすすめ」 大島 健夫 (a0389)

5 ポスター発表

- ①「千葉県の生物多様性でパズルを作る」 高山 日奈子 (a0902)
- ②「大やぶ池の四季」 柴田 清治 (a0077)
- ③「アホウドリ」 中込 哲 (a0512)

生き物報告の入力フォームが新しくなりました！

報告の累積件数が 65,000 件を超え、これまでのシステムでは処理しきれなくなっていました。新システムでは発見地点の入力等が以前よりずっと簡単になり、スマートフォンでも報告できます。皆様の生き物報告をお待ちしています。

団員 ID・パスワードがわからない等、不明な点がありましたらご遠慮なく生物多様性センターまでお問い合わせください。



【最優秀賞】 ペルソナ (仮面)
(ヤマカガシとニホンアカガエル)



【優秀賞】 カメラ目線 (ネコハエトリ)

同時開催！ 写真コンテスト

フォーラム参加者の投票により、応募された力作 33 点から最優秀賞と優秀賞を決定しました。今年度も以下のように、応募全作品を展示しています。

トピックス展「^{いのち}生命のにぎわい」

～ 生命のにぎわい調査団 生物多様性 写真展 ～
平成 28 年 3 月 15 日 (火) ～ 5 月 8 日 (日) 中央博物館常設展示室廊下

※ 観覧には博物館の入館料が必要です。

平成 28 年度 第 1 回現地研修会

in 犬吠埼 開催のお知らせ

日時 平成 28 年 5 月 7 日 (土)

午前 10:00 ～ 午後 3:30 犬吠埼～君ヶ浜 (銚子市)

犬吠埼の磯や崖で、春の生きものを観察します。

君ヶ浜の砂浜では、漂着物や海鳥を探してみましよう！

<これからの季節に観察できる生きもの>

- 調査対象種：カワセミ、キジ、ヒガシニホントカゲ、サワガニ、キンラン、オオキンケイギク (外) など
- 調査対象種以外 (種の同定が難しいため、できるだけ写真の添付をお願いします)
- * 渡りのヒタキ類、サシバなどの猛禽類 * 各種昆虫、両生類、爬虫類など
- * 希少生物 (生息・生育数が減少している生物) や、外来生物の報告も受け付けています。

メールアドレスなど、団員登録情報に変更がありましたら、事務局までお知らせください